

11月の税務・会計

秋も深まる11月を迎えました。本来であればスポーツの秋、音楽の秋、旅行の秋等々、実りの季節を満喫したいところですが、今年の秋に関しては、

新型コロナウイルス感染症の下での「新しい生活様式」での秋の楽しみ方を模索されている方も多いでしょう。

さて今月は、年末調整に必要な書類や家賃支援給付金の概要等について確認していくことにします。

◆令和2年分の年末調整関係書類

今年も年末調整の時期が目前になりました。本欄では、9月号において「年末調整の電子化」について、10月号において「今年分の年末調整で押さ

えておきたい改正点」について取り上げましたが、今月は、令和2年分の年末調整実施にあたって使用する申告書類について、これまでの年分で必要とされてきた申告書類の変遷も振り返りつつ、整理をしておくことにしましょう。

〈令和2年分の年末調整関係書類〉

- ・ 給与所得者の扶養控除等（異動）申告書
- ・ 給与所得者の基礎控除申告書兼給与所得者の配偶者控除等申告書兼所得金額調整控除申告書（※）
- ・ 給与所得者の保険料控除等申告書
- （※）令和2年分から新設された申告書類。なお、所得金額調整控除額については、所定の計算式により求めることとなりますが、給与収入が1000万円超の場合は一律15万円となります。

（参考）平成29年分までの年末調整関係書類

・ 給与所得者の扶養控除等（異動）申告書

・ 給与所得者の保険料控除等申告書兼給与所得者の配偶者特別控除申告書

（参考）平成30年分～令和元年分までの年末調整関係書類

- ・ 給与所得者の扶養控除等（異動）申告書
- ・ 給与所得者の配偶者控除等申告書
- ・ 給与所得者の保険料控除等申告書

なお、上述の令和2年分以降の年末調整で必要となる申告書類については、国税庁より本年10月より提供される「年末調整ソフト」を各自でダウンロードしたうえで申告書を作成し、当該ソフトから書面を印刷し、もしくはデータの形式で事業所（会社）に提出することが可能となります。

このうち、事業所がデータの形式で申告書類の提出を受ける場合には、あ